

## 開発コスト

## 案件ごとに見える化

## エクシードがソフト群

【立川】エクシード

(東京都国分寺市、高橋正典社長、042・328・6700)は、受注案件ごとのソフト開発などにかかるコストをリアルタイムで把握できるソフトウエア群「Wa算(わさん)シリーズ」を開発した。

ITベンダー向けの従業員就業管理ソフトと原価管理ソフトを一体化。就業管理にあたっては、出社・退社時間ではなく作業内容(ごと)に費やした時間を従業員がウェブ上で入力して申告する方式

を採用、案件ごとのコストを「見える化」し、進捗よくに対する迅速な対処を可能にする。価格は100万円から。グループ企業のスプリングファイ

ルド(同)が販売を担う。3年後に100シSTEMのサービス展開を目指す。

就業管理ソフトの入力作業は担当案件名や案件ごとの作業時間などをプルダウン方式で選択。入力の時間を省くことで従業員の負担を軽減する。交通費精算や休日出勤などの届け出が可能なほ

か、申告は携帯端末からもできる。

人件費、開発期間などを管理する原価管理ソフトと連動させることで、損益管理としての応用を実現。収集したデータを

基に、受注業務での人員の過不足や技術的な問題

などについて、当初計画と現状とのズレの原因を分析することにより、業務の効率化につなげられる。